

健康福祉常任委員会

委員長 木村 祐一
委員 神田 公一
委員 後藤 修一
副委員長 丸内三千代
委員 尾方 洋直
委員 松本 龍一

（子育て支援課）
問 保育所運営費負担金の減額に関し、見込みどおり受け入れられなかったことについて。
答 当初予算時は、定員の115%を見込んだが、保育所側の保育士確保ができていないことや施設



合志市社会福祉協議会

面積が足りていないため。
平成25年度合志市一般会計補正予算(第8号)について
（福祉課）
問 障害福祉サービス給付について。
答 平成25年3月と10月で比較し、全体の利用人数が3月で593人、10月には635人と増えている。主に居宅介護、生活介護、短期入所、就労支援が増えている。

（高齢者支援課）
問 後期高齢者医療費の委託料について。
答 人間ドック健診事業委託は、国保の補助と同様25,000円以内で100人を予定。委託先は国保と同じである。健診事業委託は、1,000人で、委託先は養生園と各医療機関にお願いする予定であ

（福祉課）
問 臨時福祉給付費の事務費について。
答 国から1月に事務費の目安基準が示されており、それに基づいた積算で適正に支出されていれば100%国が見てくれると思う。

平成26年度合志市一般会計予算について
（福祉課）
問 特定健康診査等事業費委託料の減について。
答 平成25年度当初では、健診の受診率を国の目標である65%に近づけるため、予算上46.5%を設定したが、実質的に受診率見込みが32.9%と減っている。この目標値の設定は市独自の考えで行い予算要求していた。

平成26年度合志市国民健康保険特別会計予算について
（子育て支援課）
問 特定健診の目標設定について。
答 平成25年度実績の32.9%に対し、平成26年度目標を35.3%にした。これについては、健康づくりに関するいろいろな事業を行っており、その方々たちへPRを行って受診勧奨ができるのではないかとということで数値を上げている。



西合志東小学校第3・第4学童クラブ建設予定地

る。
（子育て支援課）
問 西合志東小第3、第4学童クラブ室設計委託について。
答 早急に設計委託を行い、工事については6月に予算計上し、11月か12月には完成予定で進める。

【賛成討論】高齢者の医療費を1割負担という低率にしたことで、後期高齢者の方が医療を受けやすくなった制度であり賛成である。

【賛成討論】広域連合による運営で、資料の自身が提示されず広域連合から配分される医療制度になっており、適切な制度ではない。

【賛成討論】皆保険として被用者保険該当者以外の方を対象に、医療関係の手当てをする事業で、大事な保険制度であり賛成である。
【反対討論】保険給付費、後期高齢者支援金など制度的な支出があるため、後期高齢者医療制度は根本的に欠陥制度である。これに組み込まれた形での国保制度には反対である。
平成26年度合志市後期高齢者医療特別会計予算について
（後期高齢者医療保険料の減額について）
問 後期高齢者医療保険料の予算計上は、広域連合の予算要求に基づいて行っている。昨年度の当初予算額と今年度の計算額との比較差になっている。
答 後期高齢者医療保険料の予算計上は、広域連合の予算要求に基づいて行っている。昨年度の当初予算額と今年度の計算額との比較差になっている。

文教経済常任委員会

委員長 青木 照美 副委員長 松井美津子
委員 今村 直登 委員 木場田孝幸
委員 濱口 正曉 委員 坂本 早苗
委員 上田 欣也

平成25年度合志市一般会計補正予算(第8号)について
（学校教育課）
問 学校教育総務費の清掃管理費の減額について。
答 積算数量や単価については適正である。低価格入札に関しては、指名業者間の過当な価格競争が原因と推察する。低価格入札による弊害である施行不良等の問題は無いが、今後、低入札に関しては注視する。
（生涯学習課）
問 文化会館の空調機の状態について。
答 使用者の空調の使い方にもよるが今後調査する。
（農政課）
問 青年就農給付金の減額理由と機能について。
答 基準に該当しない等により申請者が見込みを下回った。新規就農者に対しては、毎年実態調査を行い、順調に機能している。
（建設課）
問 上群中林線の進捗状況は。
答 25年度は、土地の鑑定評価及び家屋移転交渉の内諾にとどまった。
（都市計画課）
問 住宅耐震診断補助金について。申請者が少ないのは、対象家



合志中増築予定現場

（生涯学習課）
問 ヴィーブルや図書館の今後の運営方針について。
（学校教育課）
問 ICT教育の推進について。
答 予算も要するが、より効果的な教育環境をつくるために推進する。取り組みとして、まず特別支援学級でモデル校を指定し、学びやすい環境づくりのため、デジタル教科書やタブレット端末等を設置する。
平成26年度合志市一般会計予算について
（学校教育課）
問 ICT教育の推進について。
答 予算も要するが、より効果的な教育環境をつくるために推進する。取り組みとして、まず特別支援学級でモデル校を指定し、学びやすい環境づくりのため、デジタル教科書やタブレット端末等を設置する。

問 ヴィーブルや図書館も設置後一定の年数が経過している。時代の変化もあり、より一層のサービスを提供するためには、指定管理や民間委託も検討すべきである。
（人権啓発教育課）
問 菊池恵楓園将来構想について。
答 人権啓発教育課でハンセン病問題についての啓発に取り組んでいる。また、福祉課で全国ハンセン病療養所所在市町村連絡協議会参画事業があり、各課連携し取り組んでいる。
（農業委員会事務局）
問 農業委員会だよりの規格変更内容について。
答 カラー刷りの色数や、紙質の変更により費用を削減する。
（農政課）
問 育樹祭の開催時期と内容について。
答 今年12月か1月に行い、内容は植樹と保育園児の木工教室を予定している。
（建設課）
問 スマートインターチェンジ整備事業の進捗状況は。
答 文化財や用地単価等の問題があり予定より厳しい状況。熊本市としては27年度末開通に向けて努力しているとのことである。
（都市計画課）



（現地調査）
飯高山展望台火災現場

問 公営住宅の施設修繕費を増額しても、空き部屋を即、提供すべきでは。
答 老朽化した住宅の改修等も含めて、現在策定中の長寿命化計画の中で議会とも協議し、方針を決定する。
【反対討論】解放子ども会学習会開催事業について、過去においても諸事案がからんだこともあったので反対である。
【賛成討論】言われなき差別と戦ってこられた地域の方々に差別の歴史や自身の体験を聞くことは、差別に負けない子どもたちの育成につながるため賛成である。